

「わたしの居場所」

初めて会うはずなのに、何度も来たことがあるかのように温かく迎えてくれた不思議な場所がある。
新潟県十日町市松之山布川。

美しい棚田の風景を見ると心が楽になって、自分を取り戻すことができた。
本物の美味しいお米の魅力に惹き付けられ、素敵な大人の付き合い方を知り、丁寧に生きる暮らしに触れることができた。

いつのまにか「何度でも帰りたくなる場所」へ。
この場所との出会いが「心のふるさと」へ。

人と人との温かいつながりの中で、自分自身を成長させることのできるかけがえのない「わたしの居場所」。

布川米

何代にもわたる努力の積み重ねで創り上げられた棚田は、平地に比べて耕地面積が狭い。大型の機械も入らず、作業をするにも、棚田は平地の2倍以上の手間がかかり、収穫量は数割少ない。この土地のコシヒカリの味わいは、こんな雪国の風土から生まれ、人々の手によって育まれたおいしさです。

まつむすめ

松之山布川と実践女子大学が作るお米「まつむすめ」はコシヒカリの従来品種を使い、「はせかけ」を行うというこだわりを持っています！

「はせかけ」は、太陽の下でイネを自然乾燥させ、じっくり水分を抜いていきます。そうすることで、お米の粒がしっかりし、乾燥させている間に太陽の香りがつき、美味しいお米になります！

<思いがちな場所>

<十日町市松之山布川>

日野たんぼ in 松之山布川

布川と日野の交流の場となる「日野たんぼ」。一つ一つ手で苗を植えて収穫されたお米は、日野のお祭りで紹介し大好評！

布川の棚田を日野から応援しています。



布川ハウス(布川カフェ)・藤倉ハウス

和気あいあいとした、土地の人との交流拠点。キッチンや広いダイニングがあり、会話も弾む。各種体験・ご利用の問合せは下記布川地区協議会へ。

十日町市松之山東川198-1

十日町市立里山科学館

越後松之山「森の学校」キョロロ

季節ごとの企画展、里山の自然が楽しく学べる。食文化体験工房「さとやまキッチン」のご飯も絶品！美しいブナ林「美人林」の散策は心洗われるひととき。

十日町市松之山松口1712-2 ☎025-595-8311



<日野市豊田>

増島商店 in 日野市豊田

布川米を購入できる日野市の商店。こだわりのオーガニックや自然派食品がいっぱい。日野の地ビール「TOYODA BEER」も販売！

日野市豊田4-24-11 ☎042-581-1242



日野市立カワセミハウス

緑と湧水に囲まれた環境の中に、様々な人々の夢や思いをつなぐコミュニティハウス。誰もが気軽に過ごせる地域みんなの居場所！

日野市豊田3-26-1 ☎042-581-1164



布川へのアクセス

☞日本三大薬湯・松之山温泉も近い！

- 電車：上越新幹線 越後湯沢駅下車
→ほくほく線（北越急行）まつだい駅下車 →車で20分
- 車：関越自動車道 塩沢石打ICよりR353経由（40分）

発行元：実践女子大学 生活科学部現代生活学科 地域・生活文化研究室（須賀ゼミ）
問合せ：布川地区協議会 tel:090-3437-2652（小野塚）
実践女子大学生活科学部現代生活学科 mail:gensei@jissen.ac.jp

このリーフレットの情報は、2020年2月現在のものです。



帰りたくなる、ふるさと

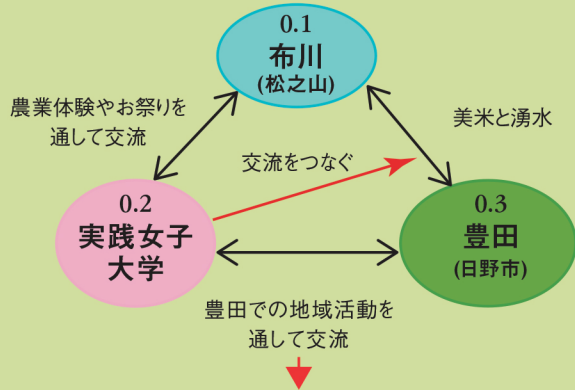
nunokaWA

新潟県十日町市松之山布川



わたしの居場所を作る
presented by 実践女子大学

つなぐプロジェクト



都市と農村の多世代交流が生まれ、
それぞれの場が活気づき、
そこが「心の交流」となっていく。

0.1 布川(松之山)

若い人が来るとにぎやかになっていい、元気になる。
何かしてあげたいという新鮮な気持ちになる。
集落の人たちも集まるきっかけになる。
一生懸命になりすぎず、自然体で、
頑張りすぎないゆる〜い付き合い方が
細く、長く、続いていくことが楽しみ。

0.2 実践女子大学

普段関わらない世代と交流することで、
新たな価値観や意外な共通点が発見できて楽しい！
たくさんの自然や温かい人々と触れ、
素の自分であることができ、心のよりどころとなる。
どんな苦勞も笑顔で乗り越えていく布川の人たちはすごい。
布川を大切に思う人の輪を広げたい。

0.3 豊田(日野市)

つながることで、両方のまちのよさが再発見できる。
安全安心な食の供給と国土保全是本当に大切。
山の米作りを知ることは、その心を育てられる。
そして、気の合った人と人々と語り合い、食を通して
仲良くなって、地域と地域がつながり、思いをかけあう。
都会育ちの人たちのくふるさと>になるといい。

コシヒカリ

コシヒカリはよく聞くけど、
どんな品種何だろう？



○コシヒカリ(従来品種)○

長所:熟色は優れている・葉いもち病に強い
収量が安定している
米質がすぐれている

新潟県の農家が肥料を与えすぎて、
稲の背丈を伸ばして倒してしまうので、
それを解決するため、多肥栽培に向かない
品種が選定されたという説も。
コシヒカリという名前は、国武正彦の歌、

「木枯らしが吹けば色なき越の国、
せめて光れや稲 越光」から命名。

○コシヒカリBLO

いもち病に抵抗性を持つように
改良されたコシヒカリ。

BL=Blast resistance Lines
(ブラスト・レジスタンス・ラインズ)

いもち病抵抗性系統の意味の略。
コシヒカリBLは1号から12号まであり、
2005年以降、新潟県で作付される
コシヒカリの9割以上がBL種。

作り方のこだわり

自然の力をふんだんに取り入れる
細やかな営み



01.水

雨水や腐葉土の栄養素を
たっぷり含んだ雪解け水を
利用しています。稲がある
程度育ったら、水を抜い
て、根張りをよくさせます。



02.土壌

肥料を与えすぎず、栄養が
少ない状態にさせます。
すると、稲自身が養分を
体に蓄えようと頑張ら
ます。



03.寒暖差

朝晩に寒暖差がある地域。
気温が下がるとお米が自ら
養分を蓄えてお米が甘くなり
ます。



04.稲の株数

イネの株を減らすことで、
養分が稲全体に行き渡り、
未熟米ができてしまうこ
とを防ぎます。

布川で暮らす人

布川は、ありのままの自分を受け入れてくれる
温かい人々が集まる場所



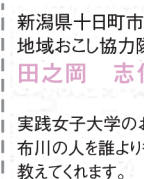
東京からUターンしてきた
世話人頭
小野塚 建治さん

地域の中だけでなく、都会との
つながりを作り出している建治さん。
実践女子大学のお父さんの存在。



穏やかなまなざしで
地域を温かく支えてくれる
涌井 信栄さん

いつも気さくに話しかけてくださる
のぶえさん。会話の中で飛び出す豊富な
豆知識でみんなを楽しませてくれます。



新潟県十日町市
地域おこし協力隊
田之岡 志保さん

実践女子大学のお姉さんの存在。
布川の人を誰よりも魅力的に
教えてくれます。



腕のいい大工さんと評判で
冬は大型除雪機を乗りこなす
佐藤 正夫さん

女子大生人気 No.1!



田んぼアートを仕掛けて、
地域の賑わいづくりに貢献
渡邊 新一さん

いつも笑顔で迎えてくれる
新一さん。



農業委員でもある
地域の中心人物
村山 幸夫さん

牛の飼育もする幸夫さん
毎日農作物や牛の命に
触れる生活をしている。

いもち病

いもち病って
何だろう？

稲の病気の中で最も被害が大きく怖い病
気。比較的多湿低温の年に多く発生する。
いもち病菌(糸状菌)が稲に付着し、そこ
に水滴があると孢子が発芽する。
菌糸が稲の表皮細胞を破って侵入し、
葉や穂を枯らし、ひどいときには、枯
死してしまうこともある。

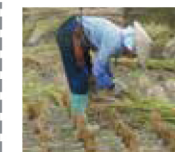
Kubota HP 「クボタのたんぼ」より

自分が思うようないいお米がたくさんで
きて、それをお客様に「美味しい！」と
言ってもらえることが一番のしあわせ。
大変なことは、ここ数年、天候が安定し
ないこと。世界的な気候変動は、農家には
何ともしようがないけれど、それが
今、一番の課題であり、克服すべき現
実。あとは、僕たちの後ろに、布川の農
業を継いでくれる人が、一人でも、二人
でも出てきてくれたら、本当に嬉しい！



布川の暮らし

手入れして
長く使う知恵



人々の暮らしを支える**笠**



古着を活かして作る
てこあて・あしこ



世代を超えて使われる
草刈り鎌